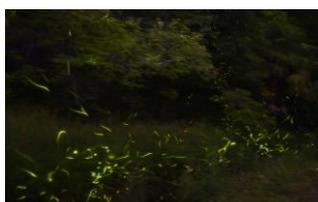


「堂々川；人も自然も生きている II」

2022（令和4）年6月20日 堂々川ホタル同好会情報誌 2022年度第2号（創刊208号）

1. 新会長就任の実質第1回目の定例会には17人参加。総会を兼ねて開催。第16回定期総会が実施された。総会資料から提案すべてが承認され、副会長は3人体制となった。
2. 6月12日の作業内容はホタルが自称福山一の飛翔をしている最中で川の周囲は作業なしとし、1番砂留周辺草刈り、オオキンケイギクの抜き取り、2番砂留道路際の草刈り、中条小が17日彼岸花植栽に来訪予定の4番砂留脇の草刈りと植栽穴あけ、5番砂留下方の彼岸花が咲く場の草刈り等を実施した。ごみ拾いは今回も大変！
3. 初夏の風物詩のホタルは1番砂留東、3・4番砂留川原、5番下溪谷、5番川原と過去最高の光の舞が見られたが、雨や風の影響もあり多く舞う日は少なかった。サフランモドキが満開で綺麗に咲いていた。又、例年通りではあるがホタルがよく飛ぶ時期は‘猪’の耕しはないが今年もなかった。ただ対応は継続して実施しており、電気柵の電源がないコードを1500m設置した。追加を手配予定。
4. 6月17日中条小12人と会員8名で4番川原へ500球植栽。みんなの頑張りが堂々川を守り、砂留を守る一助になっているんだよ～。砂留は梅雨・台風等大水が出た時下流の家や田圃を守って来ていることも知って欲しい！
5. 目で見える事例



1番砂留6月4日の光



12日の定例会参加者



サフランモドキ開花



4番川原へ植栽



5番砂留下方斜面



ホタルの幟が元気



ホタル見物



ホタル見物の車



第一生命殿清掃協力

6. 次回定例会

7月17日（日）集合場所 1番砂留 8:00～10:30

作業内容 草刈り 砂留整備 彼岸花植栽（4番川原）カワニナ放流

ホタルの定例会はいつでも参加OK。参加時お名前・住所記載・保険加入の為

7. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 中山晋一

会の運営・副会長3人体制が承認される

2022年6月12日の第16回定期総会はコロナを懸念しつつも堂々川1番砂留東の広場で開催されました。事務局より総会資料の説明で議事を進行し、役員人事において副会長3人体制が承認されました。櫻井副会長は再任、新任に乗藤守氏、新規に砂田博史氏が就任します。

以下就任された3名のご挨拶です。

副会長 櫻井 道雄 ご挨拶

歴史ある堂々公園が地域の皆さんの憩いの場として注目していただくようになり、子どもたちを始めとする多くの方の笑顔に触れられることが私たちの活力の源です。そして、和気あいあいとした楽しい時間を一緒に過ごせる「ホタル同好会」の仲間たちとの喜びの輪をこれからも広げていきたいです。

副会長 乗藤 守 ご挨拶

地域の為なら率先してやりたいという思いが同好会に入会して味わえました。この度副会長という役をいただき、今までこの会に携われた方々の思いを継承して行きたいと思えます。自分ができることを焦らずに活動に生かしていければと思えます。楽しく作業ができる雰囲気づくりの場に多くの方の参加を待っています。

副会長 砂田 博史 ご挨拶

初めまして、砂田博史です。

下町内会中の1隣保内に住んでいます。妻の縁で当地に転居してはや37年が過ぎました。昨年70歳を迎え役職を辞し気楽な立場になりましたので地域ボランティアに参加することに致しました。「堂々川ホタル同好会」の活動は以前から注目していました。今回参加でき大変うれしく思っています。微力乍ら、精一杯努めますのでよろしくお願いいたします。



櫻井副会長 左端



乗藤副会長 右端



砂田副会長